

小千谷地区納税貯蓄組合連合会長賞

税金について

長岡市立川口中学校

三年 松井 心愛

私は税金という言葉を聞くとあまり詳しくしらないと思うことがいままで何度かありました。なので税金の事を調べて興味を持ったものがあります。

それは、少子高齢化によって、税金で高齢者の方を支えることが難しくなっているということです。今は1人の高齢者の方に3・6人で支えています。がだんだん1人を支える人数が減っていくと予想されています。このことについて私は少子高齢化は高齢者が多くなると若い人が少なくなると人口が減っているという問題点以外にも1人の高齢者の年金を税金で支える若い世代の人たちの人数がだんだん減っていて若い人達の負担が年々大きくなっているという問題点もあるんだなと思いました。なのでこれからの若い世代の人達は支えるために自分たちの負担が大きくなるのでとても大変になると思うので支えきれなくなる前に別の方法を考えて高齢者の方の年金を支えていった方が良いと思います。

その他に興味を持ったのは税金がどのようなところで使われているかです。税金は私たちが暮らしやすい環境をつくるために使われていて、「公共事業」という国や地方が道路や下水道

などを整備するときや、私たちが通っている学校、学校で使う教科書、その他に都道府県や市区町村が、火災や災害からわたしたちを守るために消防署が救急活動をしたり、わたしたちの身の安全を守るために警察が犯罪を取締るなどの、わたしたちが安心した生活を送れるように消防や警察の活動、家庭や会社などから出るゴミの回収と処理など町をきれいにするためなどの公的サービス、これらのことに税金は使われています。私は、学校で使う物に税金が使われているのは知っていましたが、国や地方が道路や下水道などを整備するためや消防署が救急活動をしたり、警察が犯罪を取締るために税金が使われているのは知りませんでした。あと意外に身近に使われているんだなと思いました。

私は税金のことをあまり知りませんでした。が、税金がどこでどのように使われているのか、税金の問題点などを知ることができました。ですがまだ知らないことがたくさんあるので、税金のことをもっと知りたいと思いました。